

音楽をすること

レ・フレール斎藤守也の音楽教育論

定価　2,200円(本体2,000円+税10%)
四六判　168頁　ISBN 978-4-276-20029-6

兄弟による1台4手連弾「レ・フレール」で活躍し、コンポーザー・ピアニストとしてソロでの活躍も目ざましい斎藤守也が綴る完全書き下ろし。
12歳でピアノを始め、15歳でルクセンブルクの音楽学校に留学した経緯をはじめ、幼少期から留学時代、帰国後の生活から現在の活動につながる音楽観までを自身の言葉と写真で辿る。
ライフワークであるバリアフリーコンサートについても、その背景や思いを掲載。
斎藤守也が「音楽をする」ということ、さらには教育についてや自身の経験に基づいた価値観など、独自の目線で語った一冊。撮りおろし写真も多数収録。

■著者プロフィール■　斎藤　守也(サイトウ　モリヤ)

1973年11月5日生まれ。
幼少期より音楽に興味を持ち、家にあったキーボードを使い自己流で作曲をする。12歳でピアノを始め、15歳でルクセンブルク国立音楽学校に留学、クラシック・ピアノを専攻。
22歳で同校ピアノ科プルミエ・プリ(最優秀)修了し、帰国。
2002年に弟・斎藤圭土と1台4手連弾ユニット「レ・フレール(仏語で兄弟を意味)」を結成。
その斬新なプレイ・スタイルにより瞬く間に日本全国で「ピアノ革命」と話題となる。
2017年、初ソロ・ピアノ・アルバム『MONOLOGUE』、2020年アルバム『STORIES』(ともにUniversal Music)をリリース。
「音楽の楽しさをつたえる」ことをモットーにワークショップ、ピアノ講師向けセミナー活動などを行う。2019年には『ムジカノーヴァ』での連載をまとめた『童謡アレンジで楽しく学ぶ 左手のための伴奏形エチュード』が音楽之友社より発刊された。ヤマハ音楽教室の教材録音に参加するなど音楽教育にも携わっている。
医療機関や社会福祉施設などでのコンサートをライフワークとし、2018年には「誰もが一緒に音楽を楽しめる機会と環境づくり」をテーマとするプロジェクト「小さき花の音楽会」をたちあげ、自身がプロデューサーをつとめるバリアフリー・ピアノコンサートを開催。これまでに首都圏・愛知県・三重県で公演を実施、継続的な活動を行っている。
オフィシャルサイト https://moriya-saito.com/

（貴店名・帳合）

ご担当　　様

（注文）

冊

音楽之友社　■11月　新刊書籍■

音楽をするということ

レ・フレール斎藤守也の音楽教育論　　斎藤守也　著

定価　2,200円(本体2,000円+税10%)
四六判　168頁　ISBN 978-4-276-20029-6

➡ ご注文: FAX 03-3235-2148

㈱音楽之友社／営業部　TEL.03-3235-2151